

平成 29 年度 事業報告

公益社団法人 日本皮膚科学会

平成 29 年度 日本皮膚科学会 事業報告

1. 会員状況（平成 30 年 3 月 31 日現在総数）

(1) 会員数	12,358 名
・正会員	12,034 名
・賛助会員	324 名
(2) 皮膚科専門医数	6,716 名
・新規資格認定者	166 名
・資格更新認定者	824 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	26 名
(3) 皮膚悪性腫瘍指導専門医	81 名
・新規資格認定者	3 名
・資格更新認定者	18 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	10 名
(4) 美容皮膚科・レーザー指導専門医	45 名
・新規資格認定者	1 名
・資格更新認定者	5 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	0 名

2. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

(1) 総会、学術大会

- ・第 116 回日本皮膚科学会総会
会頭：相場節也（東北大学）
会期：平成 29 年 6 月 2 日（金）～6 月 4 日（日）
場所：仙台国際センター／川内萩ホール（宮城県・仙台市）
- ・第 81 回日本皮膚科学会東部支部学術大会
会長：山本俊幸（福島県立医科大学）
会期：平成 29 年 9 月 23 日（土）～24 日（日）
場所：ビッグパレットふくしま（福島県・郡山市）
- ・第 81 回日本皮膚科学会東京支部学術大会
会長：末木博彦（昭和大学）
会期：平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）
場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・第 68 回日本皮膚科学会中部支部学術大会
 会長：田中俊宏（滋賀医科大学）
 会期：平成 29 年 10 月 7 日（土）～8 日（日）
 場所：国立京都国際会館（京都府・京都市）
- ・第 69 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
 会長：尹浩信（熊本大学）
 会期：平成 29 年 10 月 28 日（土）～29 日（日）
 場所：くまもと県民交流館パレア／熊本市国際交流会館（熊本県・熊本市）
- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会を開催し、運営を本部にて実施。また、各大会の講演について E-learning を実施

(2) 講習会

- ・必須（総会）
 日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）9：20～13：20
 場所：川内萩ホール（宮城県・仙台市）
- ・必須（夏）
 日時：平成 29 年 8 月 26 日（土）10：30～16：00
 場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・必須（冬）
 日時：平成 30 年 1 月 14 日（日）10：00～15：30
 場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・選択（夏）
 日時：平成 29 年 8 月 27 日（日）10：00～15：30
 場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・選択（冬）
 日時：平成 30 年 1 月 13 日（土）13：00～16：30
 場所：学術総合センター（東京都・千代田区）
- ・東部支部企画
 日時：平成 29 年 9 月 24 日（日）14：30～16：30
 場所：ビッグパレットふくしま（福島県・郡山市）
- ・東京支部企画
 日時：平成 29 年 11 月 19 日（日）13：50～16：00
 場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・中部支部企画
日時：平成29年10月8日（日） 14：00～16：10
場所：国立京都国際会館（京都府・京都市）

- ・西部支部企画
日時：平成29年10月27日（金） 16：00～18：00
場所：くまもと県民交流館パレア（熊本県・熊本市）

(3) 研修会

- ・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会
日時：平成29年7月1日（土） 14：50～16：50
場所：秋田キャッスルホテル（秋田県・秋田市）

- ・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会
日時：平成29年7月30日（日） 14：55-16：55
場所：グランフロント大阪（大阪府・大阪市）

- (4) 第4回皮膚科リーダー養成ワークショップ2017
日時：平成29年10月14日（土）～15日（日）
場所：東京ガーデンパレス（東京都・文京区）

- (5) 第2回皮膚科サマースクール2017
日時：平成29年7月16日（日）～17日（月）
場所：小淵沢アートヴィレッジ（山梨県・北杜市）

- (6) スペシャリティーナース講習会
日時：平成29年6月4日（日）
場所：仙台国際センター（宮城県・仙台市）
別途、各支部学術大会においてスペシャリティーナース講習上映会を実施

3. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第127巻）
月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行
J-STAGE（オンラインジャーナル）への登載
- ・The Journal of Dermatology (Vol. 44)
月刊英文誌 計 年12回刊行
- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol. 79)
偶数月（隔月） 計 年6回刊行
- ・JDA Letter の発刊
季刊誌 計 年4回刊行

4. 内外の関連する団体との連携

(1) 国内

- ・「ひふの日」(11月12日)を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施
- ・依頼のあった皮膚科関連学会の総会等の運営支援を実施

5. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知・確認
- ・AI及びTelemedicineの各Working Groupによる検討
- ・ICT医療等の研究の検討
- ・各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施
- ・各種診療ガイドライン作成に係るGRADEシステム講習会の実施

6. 専門医の認定及び専門医研修施設の指定

(1) 専門医認定

①認定試験の実施

- ・第25回皮膚科専門医認定試験
日時：平成29年8月6日(日)
場所：都市センターホテル(東京都・千代田区)
- ・第11回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験
日時：平成30年1月28日(日)
場所：日本皮膚科学会事務局
- ・第11回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験
日時：平成30年1月28日(日)
場所：日本皮膚科学会事務局

②検討事業

- ・指導医講習会の実施(継続事業)
- ・新専門医制度に向けたシステム化の準備作業
- ・新専門医制度への各種対応

(2) 専門医研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の認定、取消等の実施

7. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞

受賞者：横内 麻里子（慶應義塾大学）

受賞論文：Epidermal cell turnover across tight junctions based on Kelvin's tetrakaidecahedron cell shape
eLife, 5, e19593, 2016

- ・日本皮膚科学会・雑誌論文賞

受賞者：新原 寛之（島根大学）

受賞論文：Real-time PCR および nested PCR 法を用いたリケッチア症迅速診断の有用性：
島根県における 11 症例の検討
日本皮膚科学会雑誌 第 126 巻第 11 号 2117-2126, 2016

- ・The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2016)

受賞者：福家 辰樹（浜松医科大学小児科）

受賞論文：Potential preventive effects of proactive therapy on sensitization in moderate to severe childhood atopic dermatitis: A randomized, investigator - blinded, controlled study
The Journal of Dermatology, Volume 43, Issue 11, 1283-1292, 2016

- ・日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与

受領者：今井 康友（兵庫医科大学）

研究課題：アトピー性皮膚炎における IL-33 誘導性 2 型自然リンパ球 (natural ILC2) の活性化とバリア機能に関する研究

受領者：上原 顕仁（群馬大学）

研究課題：細胞外 ATP による強皮症の皮膚線維化制御機構

受領者：知野 剛直（福井大学）

研究課題：マウスを用いたアトピー性皮膚炎や魚鱗癬の胎児治療の確立

受領者：林 良太（新潟大学）

研究課題：EDARADD 遺伝子変異による全身性乏汗症の発症機序の解明

受領者：古賀 浩嗣（久留米大学）

研究課題：天疱瘡におけるデスモコリン抗体の病的意義の解明

受領者：辻 学（九州大学）

研究課題：アトピー性皮膚炎の皮膚バリア機能障害における芳香族炭化水素受容体と Ovo-like1 遺伝子の役割

8. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進
 - ・ タイ・ディプロマコースへの講師派遣およびスカラシップ助成
 - ・ 5th EADC 等皮膚科関連国際会議出席
 - ・ ILDS（国際皮膚科連盟）活動への協力
9. 皮膚科学に関する情報の公開
 - ・ 日本皮膚科学会ホームページ
 - ・ 一斉メール送信
10. その他、本会の目的を達成するために実施した事業
 - ・ アトピー性皮膚炎・蕁麻疹治療安全性検討 Working group の新設
 - ・ 日本皮膚科学会認定皮膚疾患ケア看護師制度の検討
 - ・ 日本専門医機構との各種折衝（継続事業）
 - ・ 各支部学術大会における指導医講習会の実施
 - ・ 各支部学術大会におけるメンター&メンティー相談会の実施

以上